

2010年度

科目名	国語科授業研究		
担当教員	土山 和久		
配当	日文2・教福3	コード	42160
開期	通年	講時	木曜日2限
		単位数	4
授業テーマ	高等学校・中学校における国語科授業作りの基礎基本		
目的と概要	本授業では、高等学校あるいは中学校における国語科教育の今日的課題を確認し、教材分析を中心に授業構想の基本的能力に培うとともに、これからの国語科教育実践を考究することを目的とします。		
成績評価法	規定の出席数を評価の前提とし、レポート・課題提出(30%)、授業での発表活動(30%)、期末レポート(40%)から評価する。		
テキスト	特に定めない。授業に必要な資料は、その都度プリントの形で配布する。		
参考書	授業の中で、随時、呈示する。		
履修に当たっての注意・助言	本講義は毎時間の課題提出等、かなりハードなものとなることが予想されます。作業活動およびレポート作成に積極的に参加できる受講生を強く求めます。		
講義計画			
前期:前期は学習指導要領の改訂を踏まえながら読むことの教育の今日的課題を確認した上で、説明的文章および文学的文章の教材分析に重点を置きます。その際、「表現のしくみ」に意識することを基本とします。			
1回 : 問題設定; 読むことの教育の今日的課題 2回 : 「活用」の時代に求められる読みの力 3回 : 基本的アプローチとしての、「表現のしくみ」に着目した教材分析の基礎理解 4回 : 説明文教材の分析 その1 5回 : 説明文教材の分析 その2 6回 : 説明文教材の分析 その3 7回 : 評論教材の分析 その1 8回 : 評論教材の分析 その2 9回 : 詩歌教材の分析 その1 10回 : 詩歌教材の分析 その2 11回 : 物語・小説教材の分析 その1 12回 : 物語・小説教材の分析 その2 13回 : 物語・小説教材の分析 その3 14回 : 古典教材の分析 その1 15回 : 古典教材の分析 その2			
後期:後期は書くことの学習指導を中心に取り上げます。教材作り、試行、二次教材の扱いを通して、書くことの授業のあり方の基礎・基本をおさえながら、読むことと書くことの関連学習も考究したいと思います。			
1回 : 問題設定 書くことの教育の今日的課題 2回 : 言語行為に基づく表現教育の基礎理論 3回 : 説明・解説文の表現指導 その1 4回 : 説明・解説文の表現指導 その2 5回 : 意見文の表現指導 その1 6回 : 意見文の表現指導 その2 7回 : レポートの表現指導 その1 8回 : レポートの表現指導 その2 9回 : 宣伝文の表現指導 10回 : 創作の表現指導 その1 11回 : 創作の表現指導 その2 12回 : 創作の表現指導 その3 13回 : 読むことと書くことの関連学習 その1 14回 : 読むことと書くことの関連学習 その2 15回 : 授業の総括			